



ほし



佐竹 亜美 小1(南部町)

のびのびとした線で、ひらがな二文字をバランスよく書いた作品です。文字を書き始める時の緊張感が伝わってきます。お手本を見ながらも、気持ちよく筆を動かして「ほし」を書き上げる姿が浮かんできました。名前も一画一画ていねいに書いていることから、毛筆の楽しさを感じ、表現している素晴らしい作品です。これからも、毛筆の楽しさや良さをたくさん感じて、さらに成長してほしいと願っています。



大地

山根 知夏 小4(大山町)

「大地」の言葉のように、のびやかな線で、一画一画をていねいに書き、力強さを感じる素晴らしい作品です。基本点画のとらえ方、筆遣い、字形の整え方は、今までの学びの成果であると思います。作品を見ていると、自信を持って半紙に向かい、作品を仕上げている姿が浮かんできます。

これからも毛筆で文字を書くことの楽しさを感じながら、作品づくりに挑戦してください。期待しています。



任務

牧田 希花 小6(倉吉市)

一画一画をていねいに書き、バランスよく半紙にまとめた作品です。起筆では、穂先にどのくらいの力を込めるとよいかを考えながら、横画・縦画を迷いなく書き進める中にも、緊張感を持って取り組んでいる姿が想像できます。名前まで、一点一画をおろそかにしないでいねいな書きぶりに好感が持てました。今後も、毛筆で文字を書く楽しさを感じ、さらなる成長を期待しています。



北風

細田 結月 中1(米子市)

点画の長さや方向について自分で考えながら文字を構成しています。曲がりやその角度も美しいです。「風」のそりの部分は難しい部分ですが、直と曲の動きを組み合わせで成功しています。筆づかいは、墨をしっかりと含ませ柔らかく、気持ちよく筆を運んでいます。また、始筆における筆圧、角度も工夫され豊かな線質を生み出しています。全体的に堂々と伸びやかな立派な作品です。



和歌

片岡 彩希 中2(米子市)

行書の形の特徴を深く理解し、自分のものにした上で、筆を持ち、気持ちよく書いている姿を作品から想像することができました。スピードも感じられる作品で、筆が活動している線も見られます。筆圧のコントロールがとても上手く太細の変化に富み、様々な線の表情があります。形を整えて正しく書くのはもちろんですが、線の表現の幅広さも見ている人に伝えることができる魅力ある作品です。



理想追求

田中 真由 中3(米子市)

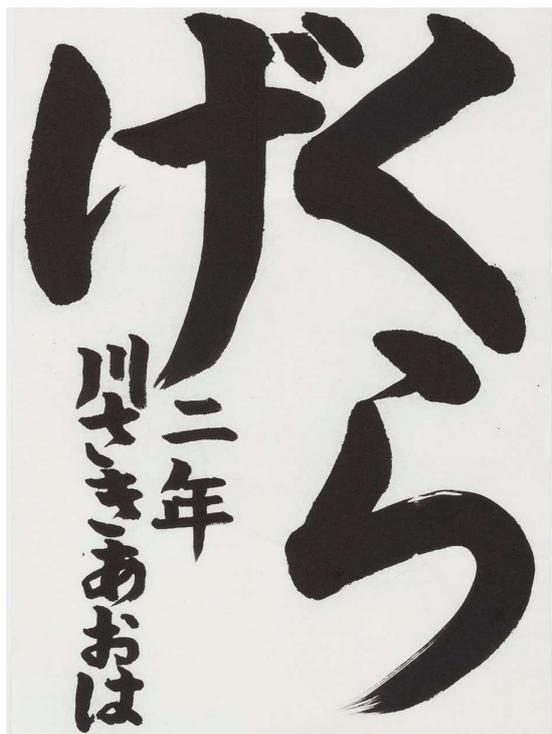
作品に選んだ言葉の意味に負けない、清々しい、きりっとした姿勢の文字です。この四字を半紙に収めるのは大変だったと思いますが、上手くまとめています。点画の細部にまでこだわり、丁寧に穂先を使っていることが作品から感じられます。筆脈は貫通しており、気持ちよく自然に流れています。様々なことに気をつけながら書いていても、一つひとつの点画が迷うことなく、明確な意思をもって書き上げられた素晴らしい作品です。



まぐろ

関 翔太 小2(米子市)

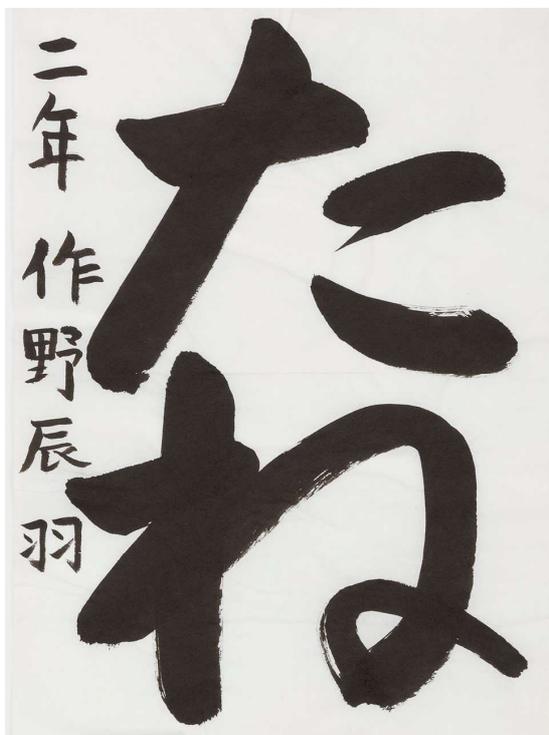
始筆から終筆まで、筆先に気持ちを集中させ作品を仕上げました。名前もすばらしいです。



くらげ

川崎 あおは 小2(米子市)

ひらがな三文字の大小を工夫しました。墨をたっぷり筆に含ませ、力強い線で書きました。



たね

作野 辰羽 小2(境港市)

二文字を上手に配置しました。「ね」の一画目に気をつけ、おすびまで堂々と書きました。



星

繪原 みう 小3(米子市)

半紙いっぱいにか強く書かれた「星」は、力強く字形も整い、とても存在感があります。



山水

市橋 明香里 小3(境港市)

太い点画で力強くのびやかに書かれた作品です。字形もよくバランスがとれています。



玉水

精山 楽々 小4(南部町)

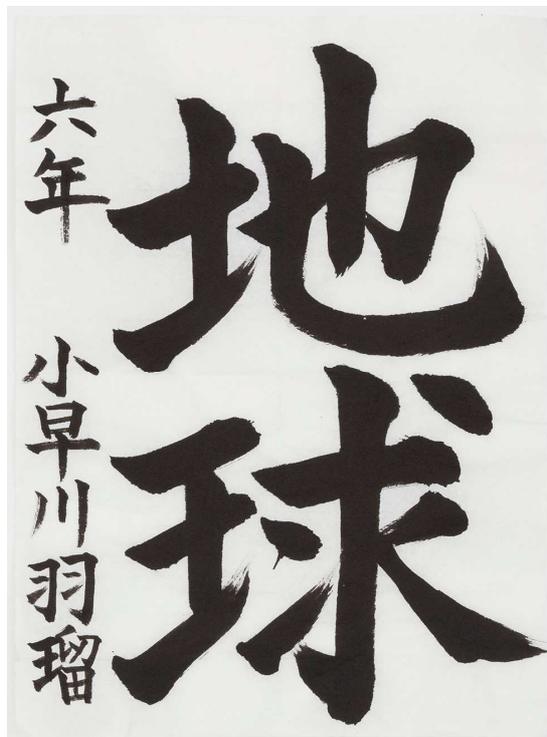
点画の方向、左右のバランスを意識して書かれた作品です。清らかさ、美しさが伝わります。



流星

平野 愛衣 小6(鳥取市)

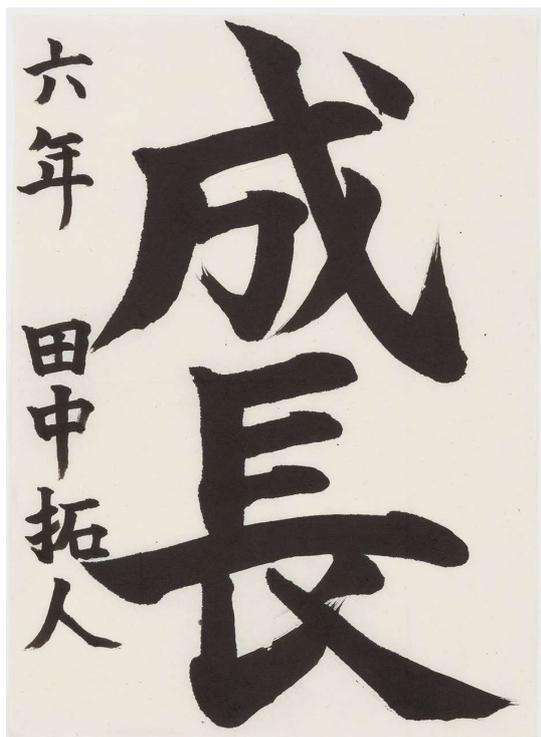
文字の中心や点画の方向を意識して、丁寧にまとまりよく書き上げています。



地球

小早川 羽瑠 小6(米子市)

左右の組み立てに気をつけて、一画一面をしっかりと書き、力強い作品に仕上げました。



成長

田中 拓人 小6(米子市)

二文字の配置がよく、特に横画・はね・はらいがのびやかによく書かれています。



飛鳥

景山 輝心 中1(米子市)

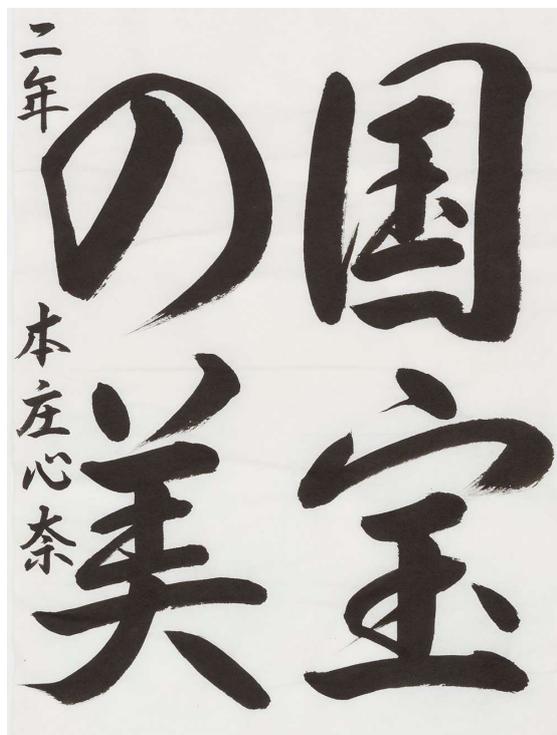
どちらの字もバランスが難しいですが、点画の長短、方向や角度を考えながら書きました。



希望

宮木 菜乃 中1(米子市)

字形をしっかりと捉えています。一つひとつの点画の表情が豊かで筆圧の工夫が見えます。



国宝の美

本庄 心奈 中2(境港市)

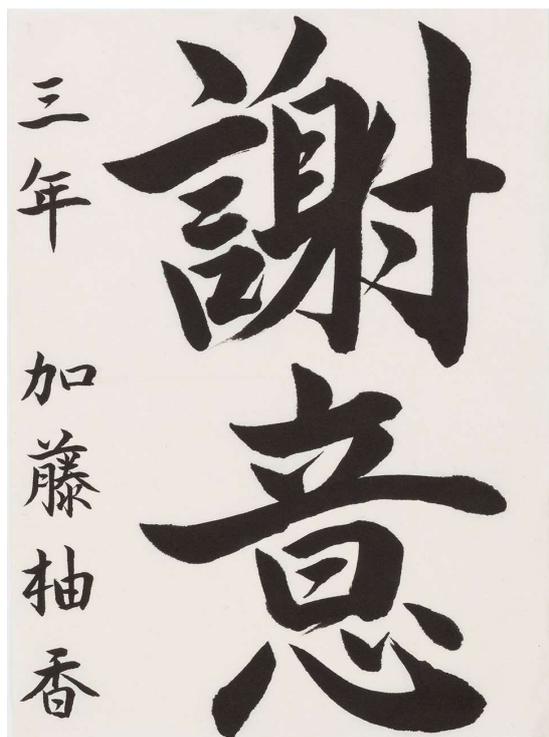
柔らかな線質、筆脈が貫通した字形、行書の美しさをよく表した完成度の高い作品です。



流星

木村 駿仁 中2(米子市)

筆脈が感じられる素晴らしい行書作品です。運筆のスピード感も文字に表れています。



謝意

加藤 柚香 中3(鳥取市)

文字の組み立てを考えながら書きました。穂先への集中力が高く、連続が美しいです。



風光明媚

中尾 美咲 中3(江府町)

四字をしっかりと収めました。行書の字形を捉え、伸び伸びと筆が動いています。

(講評及び作品評は各部門審査員が執筆)

●小学校

今年は1,195点の作品が寄せられました。題材は、生活の中にある身近な言葉や子どもらしい言葉が多くありました。自分が好きな言葉や心に残っている言葉を書写で表現してみようと思ったのでしょう。筆に墨を含ませ、「よし、やるぞ」と意気込み、「どんなふうに書こう」と思索しつつ、楽しみながら紙面に向かうみなさんの姿が浮かんできました。「とめ」「はね」「はらい」などの基本の筆づかいや二文字以上の配置、バランスなど、これまで学校の書写の時間や書塾で学んできたことを生かして自分が書きたい言葉を書こうとするとき、それは生きてはたらく力になります。みなさんにはこれからも、学んできたことと「書きたい」という意欲を大切に、作品づくりをしてほしいと思います。

また、応募作品には名前も含めて最後まで丁寧に書いたものがたくさんありましたが、中には点画の接し方などに間違いがあるものもありましたので、字形などに間違いがないか、確認をするようにしましょう。

●中学校

今年は387点の作品が寄せられました。中学校で初めて行書を学習し、学んだことを表現しようという気持ちの溢れた作品が多く見られました。行書の特徴の一つである点画の連続には、実際につながる線のほかに、目には見えない心の線、筆脈があります。形を真似するだけではなく、文字を書く際の呼吸やリズム、筆の動かし方にも気を配ると、より筆脈の感じられる作品になると思います。

近年、四字の作品も多く出品されています。文字の大小、漢字と平仮名のバランスを考えて紙面にどう収めるのか、工夫が必要です。全体を見て、余白や間の取り方も意識すると、よりまとまりのある作品に仕上がります。

作品を書く上で大切なことは、文字だけではなくありません。筆や墨、紙といった用具、用材も作品を構成する大事な要素です。自分の選んだ言葉にはどのようなものが合うのか、ぜひ考えてみてください。今後も書を楽しんでくれることを期待しています。

●特別賞 「ほし」 佐竹 亜美 小1(南部町)



まだ、学校では毛筆を学習しない小学校1年生が、習いたてのひらがな二文字で「ほし」を書きました。姿勢を正し、大筆に墨汁をたっぷり付けて、一画一画の筆はこびを大切にしながら半紙いっぱい大きく太い線で書く姿が目浮かんできます。名前一文字一文字も丁寧に形を整えて書くことができました。

作品名の「ほし」は自らの輝く未来を象徴する言葉のようです。希望いっぱいの作品に大きなエールを送りたいと思います。